

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (19) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 5 月 10 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 15 一つの国 24, 25, 永遠(マタ 28:16-20)	△ART と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 15 レムナントの庭(ルカ 23:38)	△核心/胎・乳児宣教局 世界福音化の始まり(出 2:1-10)
産業人重職者が何をすべきなのか。胎乳児の親は何を準備しなければならないのか。金土日時代と一つの国を生かす 24, 25, 永遠の証人になりなさい。 □序論_証拠(聖書にあるみことばが成就) 1. 胎乳児の親が必ず準備することがある。 2. 7・7・7 証拠(300%) キリストが与えられた最も重要なことに対する証拠がなければならない。これではなければ、したことがすべて無駄になる。ユダヤ人、中世教会、現代教会がみなそうした。ある宣教師は、聖霊に導かれて現場に必ず必要なことをした。これが 300%だ。 3. 答えが与えられるしかない条件を備えなさい。 1) 5 人 1 組(疎通)最初の条件が 5 人 1 組が成り立つことだ。本当に証人ならばレムナントが来て、ほかの重職者がしたがう。疎通できる 5 人 1 組が作られて、伝道者となつたのが正常だ。 2) 5 流れ みことば、祈り、伝道は流れがある。それを見るのだ。私がいる職場、現場で霊的な流れを読まなければならない。少なくとも一つの国の霊の流れを読んでいなければならない。これが 5 つの流れだ。 3) 24 チーム、25 チーム、永遠チーム すると自然に 24 チーム、25 チーム、永遠チームが作られる。 □本論_答えを確認 1. マタ 28:16-20 1) すべての権威がわたしに与えられている。 2) いつもともにいる。 3) 弟子としなさい。これを 24 する人を作ろうとするのだ。 4) 教会化 父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け。 5) 再生産 教えて守るようにしなさい。その人がまたほかの人を教えることができるのだ。 2. マコ 16:15-20 1) 御座 いたるところで福音を伝えたとき、御座に着かれた主が働かれた。 2) 悪霊 わたしの名によって悪霊を追い出しなさい。 3) 病人 わたしの名で病人に手を置けば癒やされる。 4) 蛇 暗闇の権威、サタンを掌握できるとのことだ。 5) 保護 毒を飲んでも害を受けないのだ。 3. 使 1:1-8 1) 三位一体の神様の奥義だ。 2) 御座-やぐら、旅程、道しるべ 3) 300%準備 聖霊の満たしは何か。300%だ。300%準備が聖霊の満たしだ。 □結論 1. 逃したこと 2. 来ていることを確認しなければならない。何を探そうとせずに、来ていることをよく確認して 3. 必要なことをしなければならない。	□序論 1. 神様がレムナントに何を備えられたのか。 2. どんな作品を作ろうとされているのか。 これを祈ってみるならば皆さんの考えが重要ではないことを知るようになる。 3. ここで学業と職業、産業もできる。 □本論_証拠 1. マタ 27:25 祝福しなさい ことばは私たちの考え、人格で、たましいに刻印される。他人の話、不信仰を話す人は、それ自体がわざわざい、暗闇、のろいだ。疎通は、言葉と行動、表情、みな合わさって疎通となる。 2. ルカ 23:28 イエスが歴史的なことを話された。未来に備えさせた。 3. ヨハ 21:15-18 未来の使命を語られた。 4. 使 17:1 パウロがテサロニケの会堂を探して行き、流浪の民時代に備えた。 1) キリストの当為性 2) 必然性 3) 絶対性を次世代に知らせた。 5. 使 18:4 「安息日ごとに」 1) 礼拝と祈り 2) 金土日時代 3) 集中の力 祈りの力が集まればものすごい変化を起こす。 6. 使 19:8 これが答え「神の国」 1) 御座 2) 神の国 3) 神の国のこと △私たちは証拠を持ってレムナントの庭(個人と現場、教会)に証人として行く。正しく礼拝をささげれば、六日間祈りの中で証拠ができる。それを持って教会に行けば、私の話を聞く人がいる。胎乳児は霊的に伝達されるので、母親、特に父親が祈りを知っている人ならばものすごい。また、子どもが育つ過程で恵みを与えられるのだ。それゆえ、教会と教師、胎乳児部あるのだ。教会は最後の機会だ。それゆえ、この胎乳児部はとても重要だ。	正確な世界福音化の始まりは胎乳児から始まった。 □序論 1. 両親→伝達 一番最初に親が神様の祝福を受けて、この部分が霊的に親を通して伝達された。 1) 7 やぐら、7 旅程、7 道しるべ-流れを祈りの中で見ること (1) 3 集中-子ども、家族とともにすればより良い。 (2) 3 セッティング-答えが来る前に答えを受ける器が先に準備される。 (3) 3 答え-問題、困難、危機に会う前に答えから先に与えられる。 2) 影響されない。これが福音の力だ。 (1) 過去(刻印) (2) 現在(困難) (3) 未来(不安) 3) 300% -神様のことが出てくる。 (1) 3 庭 (2) 金土日(ほかの人を助け) (3) 黙想時代(癒やし、力)主役 △世界福音化は御座の力でなければならない。この時間をわざわざ作りなさい。 2. 確信すること 祝福、準備-神様は親と教師を先に祝福されて、レムナントのために準備しておかれた。 3. 確定すること 作品-神様の作品(2030~2080 世代に準備しておかれたこと)、レムナントのこと □結論→ 24, 25, 永遠の祝福を味わうこと 1. 健康回復(7.7.7 ゆっくり、安らかに、静かに、長く続けて呼吸して) 2. 祈り回復(考えを祈りに変えること) 3. 証拠回復(5 流れ) -みことば、祈り、伝道の流れが見えるが、私がどこにいるのか見える。すると現場の霊の流れが見えて、一つの国に対する流れが見える。 □本論_絶対不可能の中に絶対計画を見れば絶対可能(私が何すべきなのか)が見える。 1. 出 2:1-10 ヨケベデ 絶対不可能(ヘブル人の子どもたちをみな殺せ)、絶対計画(エジプトからイスラエル民族を連れて出て行きなさいということ)、絶対可能(子どもを王宮に送った) 2. I サム 1:1-11 ハンナ 絶対不可能(子どもがいない、ペリシテの続いた侵略)、絶対計画(ナジル人が必要であること)、絶対可能(その契約を握って祈り) 3. マタ 11:11 バプテスマのヨハネ-女が産んだ人の中で最も偉大な人物 絶対不可能な世代に現れた最後の預言者、キリストを証しして死ぬことが使命 4. ヨハ 21:15-18 絶対不可能(法的に異端の濡れ衣を着せられた初代教会)、絶対計画(世界福音化)、絶対可能(子羊を飼いなさい) 5. 使 17:1、18:4、19:8 絶対不可能(まもなく国を失う状況)、絶対計画(世界福音化)、絶対可能(会堂へ)

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (19) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 5 月 11 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 19 週/ローマまで - 伝道、宣教現場の場(使 27:24)	△聖日 1 部 堅く閉ざされた城門(ヨシ 6:1-7)	△聖日 2 部 空前絶後の答え(ヨシ 10:12-14)
伝道、宣教は必ずその現場に重要な場がある。 □序論 1. カルバリの丘-ヨハ 19:30 (始まり) 「完了した」ということは、暗闇の権威、すべてをみな終わらせて、みな成し遂げたということだ。ところで私はよくできない。その部分が始まりだ。 2. オリーブ山-ミッション オリーブ山で 40 日を集中した理由は、無力でも正確なミッションを握ったのだ。 3. マルコの屋上の部屋-力の体験 マルコの屋上の部屋で力を体験して 5 つの流れを確認した。 4. アンティオキア-更新 アンティオキアへ呼ばれたのは更新だ。マルコの屋上の部屋で大きい力が臨んだが、私たちの考え、私たちの知識ではできない。 5. アジア-見ること(聖霊)アジア地域で宣教をするのに、完全に聖霊の導きを受けたのだ。伝道と宣教はするのではなくて、聖霊の導き、聖霊の働き、聖霊の実を見ることだ。 6. マケドニア-ターニングポイント マケドニアへと呼ばれた。うまくいかないように見えるが、大きな答えを受けるターニングポイントをくださるのだ。 7. ローマ(ロマ 16:25-27) 神様はローマ 16 章 25 節から 27 節にあるとおり、隠された祝福、永遠のことをくださる。これが 7 道しるべだ。この祝福をどのように見るのか。この祝福を受けたいが、私たちは危急の状況を先に持っていたりもする。私たちは永遠のいのちを持っている神の子どもだ。錯覚を捨ててしまっこそ、7 道しるべが見え始める。 □本論 1. このときから 237-5000 種族が生かされる。 1) このとき、TCK が集まるが、このような人々が用いられるようになる。 2) CCK 北朝鮮、中国、ムスリムなど疎通できない所に門が開かれる。 3) NCK 何もない現場に門が開かれる。 2. 一生 1) 力ができると、その力を持って支援者、同労者、家主になれる。 2) 秘密決死隊に 3) 世界福音化のシステムを作る Holy Mason になる。 3. 世界教区を作るのだ。 1) 派遣する教会がある。 2) すると現地教会ができる。 3) 両側が手を握って堂会が形成されて祈らなければならない。それでこそ次世代につながるができる。これを世界福音化という。 □結論(ロマ 16:25-27) 1. 永遠のこと 2. 隠されたことを 3. すべての現場に今与えるということだ。	1. マコ 11:24 正確な契約を握って信じて祈れば、すでに答えは来た、成就是その後が始まる。 2. 絶対不可能の中に絶対計画と絶対可能を見ることが礼拝と祈り 1) ヨケベデ-絶対不可能(ヘブル人の男の子を殺さない)、絶対計画(次世代が出エジプトしてカナン之地へ行くこと)、絶対可能(息子を王宮へ) 2) エリコの町-絶対不可能(エリコの町)、絶対計画(暗闇のエリコの町を崩すこと)、絶対可能(町は堅く閉ざされていた、心がしなえてふるえおののいていたエリコの人々) 3. 今日-暗闇、わざわい、サタンのエリコの町を崩しなさい。 □序論_なぜ? 1. エジプトは成功した国ではない。出エジプトはわざわいでなく、エジプトの暗闇のわざわいを崩すこと。成功ではなく、出暗闇すべき 2. 40 年間、荒野に縛っておかれた理由-私はどこに来ているのか確認 1) 創世記-人間に問題が来た理由と答え 2) 出エジプト記-出暗闇・のろい・わざわい 3) レビ記-礼拝で私のすべての答えが出なければならない。 4) 民数記-12 部族、12 地域を偵察してきた後に入った。 5) 申命記-カナン之地に入るには準備することを刻印、根、体質させなさい。 3. エリコを崩しなさい-これから行くところに神様の力が必要だと □本論_エリコを崩す方法 1. 絶対証拠を握りなさい-契約の箱について行きなさい(4 節) 1) 出エジプトの時の証拠、荒野の証拠を握りなさい。 2) エリコは堅く閉ざされていて、出入りする者がいなかった(1 節) 3) エリコと王と勇士をあなたの手に渡した(2 節) 2. 絶対目標に向かって行きなさい-この町を与えた(16 節) 1) カナンの地を偶像国家にした 7 部族-霊的問題の癒やし 2) 偶像崇拜の指導者である 31 王-変えに行きなさい。 3) カナンの地に入って回復して世界福音化しなさい。 3. 絶対答え-何も言わずに回って、最後の日にはいっせいに叫びなさい(10 節) 1) 七人の祭司(6 節) -主のしもべは 24 祈りのリーダーになりなさい。 2) 武装した者は契約の箱の前に立てなさい(7 節)-重職者は契約の箱を担いだ者とともに民の前で回りなさい。 3) 最後の日いっせいに大声を出しなさい。その町は崩れる(5 節) □結論_生き残らなければならない人 1. ヨシュア、カレブ-エジプトの地を見てカナン之地に入った人 2. 荒野で生まれた次世代-荒野でみな回復して刻印させた 3. 遊女ラハブとその家庭-その子孫がダビデ(福音の力) △今日は私の周囲の暗闇の勢力を祈りとみことばで崩す日だ。一番うまくできないことで契約を握りなさい。	祈りが何か見たヨシュアは、祈りの中で御座の力、神の国のことを経験して三つの祭り、幕屋中心が何か経験した。この人が危機を迎えたのだ。ただ、唯一性、再創造が何かをよく知っていたヨシュアは、空前絶後の答えに挑戦した。 ほとんどの人々がよく見ることができないので、祈りの答えを受けられない。アモリ連合軍が攻撃してきた。ものすごい危機になったと見えるが、ヨシュアはそのように見なかった。今日、ヨシュアが神様の前に特に祈る内容が出てくる。 □序論_空前絶後の答えを受けた人々 1. 奴隷(創 41:38) -ただ福音を持っているヨセフが奴隷として売られて行ったが総理に 2. 出 2:1-10 イスラエルが皆死ぬことになったとき、ヨケベデとモーセに空前絶後の答えが与えられた。 3. イテロ 4. ヨシュア 5. カレブ □本論_空前絶後 1. 始まり <u>絶対不可能</u>に挑戦 <u>正確な契約</u>を持って 1) 6 節-祈り(アモリの王たちが攻め込んできた) 2) 8 節-ひとりもあなたに前に立ちはだかる者はいないという契約をあらかじめ与えられた神様 3) 11 節-雷を降らせて、敵軍を止められた神様(神様がともにおられるサイン) △多くの人が状況と現実を見ておじけづく。 2. 過程 <u>函</u>になってダメなように見えるとき、神様の<u>絶対計画</u>を握った 12 節-主に告げて(緊急な祈り)。神様の働きを体験しなければならない 1) 荒野で 2) モーセとともにおられる神様を見た。 3) カナンの入国を約束された。 △夜は主の計画を止めることはできない。 3. 答え <u>絶対答え</u>を与えられた-太陽、月が止まった 1) 権威祈り-太陽、月よ(12 節) 2) あきらめない祈り-神様のみこころならばあきらめてはならない(13 節) 3) その日の祈り-ヨシュアと皆さんに向かったその日の祈りがある(14 節) △最高の困難が来たとき神様は最高の答えをくださったのだ。人が助けてくれることができない問題が来たが、神様は最も良いことを準備された □結論_体験 1. ホレブ山で最高の困難を受けたモーセとエリヤに本当の答えをくださった。 2. バビロンで死ぬことになった民に空前絶後の答えを与えられた。 3. オリーブ山で初代教会が最高に難しいときに与えられたみことば △最高の困難を受けるとき、神様は空前絶後の答えを準備された。神様、私に空前絶後の答えを与えてください。空前絶後の恵みを与えて証人としてください。神様は私たちの祈りを聞いてくださる。この体験をしなければならない。